

ちわいど

2016
彼岸号 VOL.146
浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺

◆ 目次 ◆

- 布教師会HPの紹介
 - 賢問子行状記⑩
 - 迷子みちしるべ四
 - お釈迦さまの十大弟子 ⑥
 - インド **ドタバタ** 夫婦道中記 ④⑩
 - 総本山誓願寺だより
 - 何でも **お寺探偵団** Vol. 44
- 招賢山 白蓮院 東林寺



◆ 誓願寺蔵 天智天皇像 ◆

天智天皇(626-671)

大化の改新の中心人物。父・舒明天皇の即位後、中大兄と呼ばれた。

斉明天皇年間、飛鳥宮造営などの大きな土木工事、蝦夷地(現在の北海道)の支配、唐に滅ぼされた百済の復興に費やす。斉明天皇7年(661)春、都を飛鳥から近江の大津に移し、翌春に即位して天智天皇となる。天智天皇6年(667)誓願寺建立(「誓願寺縁起」)。天智天皇10年(671)12月3日、46歳で世を去る。律令国家の創始者と仰がれる。

毎月新しいお説教(法話/説法)を、 ご本人の声で聞くことができます

今すぐ!ご検索下さい!!

深草派 布教師会

検索

季節の法話 4月



京都市伏見区 真宗院住職

さかき ばら けい けん
神原慶憲師

御題「朝日と夕日」

一日の始まりと終わり、この太陽を観ることは、極楽浄土をイメージする練習の一つです。

季節の法話 5月



愛知県蒲郡市 玉泉院住職

にい み わ げん
新美和彦師

御題「五月」

禅定のお念佛について、優しく法話をしています。忙しすぎる世の中だからこそ、「忙中閑あり」。

平成28年1月の法話(1)



愛知県岡崎市 崇福寺住職

いな よし まん りょう
稲吉満了師

御題「新しい光明の朝が来た」

法然上人は、阿弥陀さまのお心が琴線に触れ、それ以来驚くほどの心の安らぎを実感しています。

平成28年1月の法話(2)



愛知県西尾市 養林寺徒弟

お ぼら しょう えつ
尾原昭悦師

御題「気づきの大切さ」

誰もが誰に対してもできる、人に与えることのできる「無財の七施」。

浄土宗西山深草派 布教師会の
ホームページの紹介です



第十一話
「和泉式部、書写山に詣でる」

書写山の性空上人は毎日法華經を読み、麓の庵室で説法し人々を教化されたので、人々は「生身の仏さま」と崇めています。

ある時、性空上人は弟子達へ、

「明後日の夕方、都より鬼ども四人が、私に会わせて欲しいと言つて来るようです。性空は西国へ修行に出て留守です」

と答えるように伝えました。三日後の夕方、庵室の門戸を叩く音がします。弟子達が覗き見ると、美しい女性四人が打ち萎れて立っています。弟子は鬼神が美女に化けて来たと思ひ、門の内より、
「性空上人は西国へ布教に出て留守です」

と伝えました。和泉式部は、

「はるばるやって来たのにお留守とは。私ほど罪深い者はいない」

と悲しくなりました。日も暮れ帰り道も分からず四人の女中は、門前で夜を明かそうとしましたが錦の着物では眠れませぬ。

「尼僧になる道を諦めよう」

ふと東の方を見れば、山の端より月が昇り、暗かった空が光に照らされました。式部は有り難く一首を詠みました。

冥きより 冥き路にぞ 入ぬべし
遙に照せ 山の端の月

性空上人は、庵室の中で歌の心を聞き、「これは釈迦一代の説教が三十一字に表れている。不思議な女だ」

と思ひ門前の女性を中に入れ対面しました。式部は頭を下げ、

「私たちは上東門院皇后に仕える者です。私は春に一人娘と死に別れ、出家して娘

の菩提を弔いたく、性空上人ならば、罪深き女人を教化していただけると参りました」

と話しました。しかし性空上人は、

「女人教化の道を私は知りません。他へ参つて教化を受けてください」と答えました。

「では誰を訪ねれば！」

と女中達は涙をこぼしました。

「法華經十萬部あまりを読んだが、女人が仏になることは叶わない。しかし一つ教えを示したい。京都の誓願寺の阿弥陀さまには、女人であっても念仏を称える者を極楽へ救う他力本願の力がある。『遙に照らせ 山の端の月』は誓願寺にある。早く京都に帰り誓願寺に参りなさい」

式部と女中達は誓願寺に参り、式部は皇后より奉公の暇をもらい、誓願寺住職にお願いして尼僧となり、「尊意」と名付けられました。境内には皇后より小さな御堂を賜り、麻の衣に数珠を持ち、念仏の声が絶えることはありません。和泉式部は長和三年（一〇一四）三月二十二日、夕日と共に大往生を遂げました。

（つづく）

京都 本山誓願寺

迷子みちしるべ

四



このたび、新しく刊行された、檀信徒向け小冊子「ほとけほとけない」について、畔柳くわなやなぎ 教学部長にお話を聴きました。
なぜ、小冊子刊行に至ったのか？

—皆さんが日ごろ抱くであろう仏教への身近な疑問に答えるべく、派内教学部出版企画室で小冊子を作りたいという念おもいから始まりました。初回はお仏壇編です。お仏壇を祀まつることは、どこか堅苦しい印象があるかもしれませんが。でも、亡くなったおじいちゃんやおばあちゃんを思い出し、ご先祖様から自分へ続いてきたつながりを確認する場所です。そして自分もいずれは誰かの先祖となり、そのつながりが広がって行く、このことを伝えたいという思いを込めています。

どんな人に読んでいただきたいか？

—もちろん、たくさんの方に読んで頂きたいのですが、とりわけ、仏教になじみの少ない若い世代の方たちに、手に取って頂きたいと思っております。ですから、知って頂きたいことや言いたいことを優先するのではなく、必要とされていることはどんなことなのか、読者の立場に立った内容となる様に気を付けました。

企画にあたり、どんな点に気を配りましたか？

—どうすれば若い世代の方に、手に取ってもらえるかということ。表紙の絵には少し奇抜な印象があるかもしれませんが、家にこの小冊子があった時に、お子さんやお孫さんが、「これは何だろう？」と興味を持ってもらえる様な表紙にしたい、そんな思いを込めた表紙ができました。

こだわった点は？

—次の時代、お仏壇を守って行くのは若い世代です。その方たちに受け入れられやすい言葉で、できるだけ同じ目線に立って会話をしている様な感覚で、お仏壇の意義やお仏壇を守って行くことの大切さを伝えることにこだわりました。読んで頂いて、とても分かりやすいものとなっていると自負しています。ご興味がおありの方はぜひ、菩提寺のご住職にお尋ねください。



畔柳正倫 教学部長

平成25年11月、浄土宗
西山深草派教学部長に就任。
愛知県西尾市の桂岩寺の第32世住職。

お釈迦さまの
ご生涯
外伝

お釈迦さまの十大弟子

6

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

頭陀第一の摩訶迦葉 その2



お釈迦さまの弟子となった摩訶迦葉は、ひたすら修行をしました。頭陀行の一番大切な修行は托鉢です。色んな家を回り、その日の食事を頂きます。多くの弟子達が、裕福な家々に托鉢に出掛けたのですが、摩訶迦葉は貧しい家々に托鉢に回りました。

ある日の事です。貧しい人々が暮らす村で托鉢を行っていた時のこと、一人の老婆に出会いました。見るからに元気がありません。その老婆に声を掛けてみると、

「私はもう十日も何も食べていません」と言いました。

「これをお食べなさい」

と托鉢に回り、自分が貰った食事を老婆に与えました。老婆は大変喜び、感謝したそうです。

数日後、再び貧しい人々が暮らす村で托鉢を行っていました。すると、先日会った老婆が声を掛けてきました。

「お坊さま、先日はありがとうございます。お札に何かご供養させて頂きたいのですが、こんな物しかありません。お受け取り頂けますか?」

老婆が差し出してきた物は米のとぎ汁でした。お米が買えない老婆は、裕福な家から米のとぎ汁を貰って飢えをしのいでいたのです。しかも、昨晚のとぎ汁ですから、腐っており、物凄い悪臭が鼻を突きます。

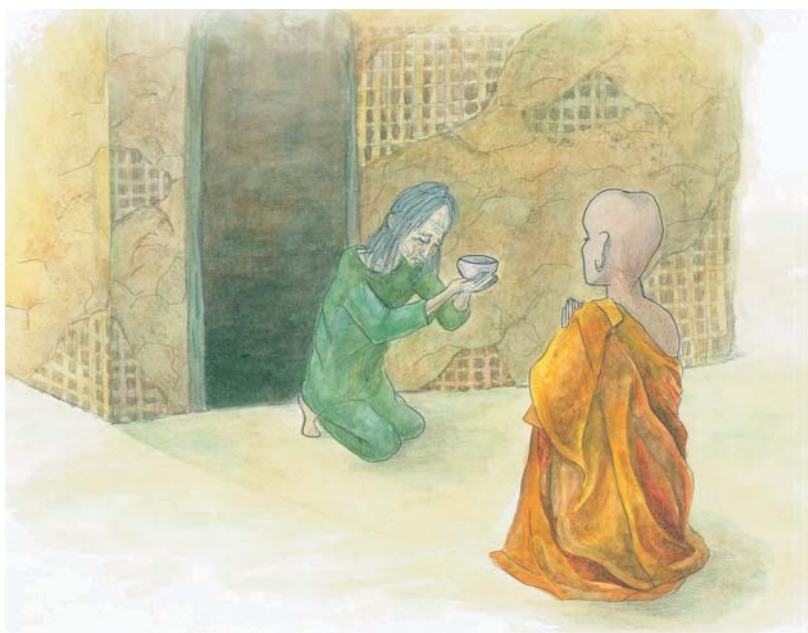
「ありがたく頂戴します」

摩訶迦葉は、老婆から貰った米のとぎ

汁をぐつと飲み干しました。

「こんな物でも頂いて下さるお坊さまがいらっしやっただとは。ありがとうございます。あなたこそ仏さまです」

老婆は涙を流して喜び、摩訶迦葉の素晴らしさを讃えたそうです。



摩訶迦葉に米のとぎ汁を供養する老婆



東龍寺 住職 岩瀬 賢良

精神世界の

ほんの二部を感じた

タイ寺の横に小綺麗で小さなホテルがあり、そこではどうやら結婚披露パーティーが開かれ、夕方から音楽や歓声が聞こえていた。それが夜遅くになっても終わらず、結局そのざわめきは朝まで断続的に続いたのだ。僕たち四人の誰かが熟睡できなかつたのだが、それでも割と元気だったので、新婚カップルの旅立ちを見送って誰もいなくなつた後、僕たち夫婦は朝の清々しい空気を吸い込んで周りを散歩した。

軽く朝食を済ませた後、まず五キロメートルほど離れた山、グリッダクータ（霊鷲山、耆闍崛山）に登ることにした。ゲストハウスを出て歩いていたら丁度、馬車を通りかかったので、それに乗り登り口まで向かった。登り口に着いて山頂に向かう石段を歩き始めると、いつの間にかお巡りさ

んが二人ついているのだった。ここは、虎や強盗が出没するので、以前にも必ず同行してくれている。年配のポツテリしたお巡りさんは確かに記憶の隅に残っていた人で、『地球の歩き方』にも紹介されている日本人びいきの良心的なお巡りさんである。

ラジギールは経典では『王舎城』と訳され、釈尊在世の時代はマガダ国という国の首都であった。その国のビンビサーラ王（頻婆娑羅王）は、覚りを得る前からのお釈迦さまに一目置いていた人である。王の右腕として、多くの家臣と武力の提供を申し出たのだが、お釈迦さまは、全てを捨てて修行中の身の自分にはそんな欲は微塵もないと、あっさり辞退し、覚りへの道に邁進したのである。断られた王は、もし覚りを得た暁には、まず自分を在家信者にして欲しいと願った。そしてその後、仏教教団のために、僕たちが泊まったゲストハウスの近くにある竹林精舎を寄進して

るのである。

長い石段を途中二回ほど休みながら、釈尊が説法したといわれる頂上に辿り着いた。僕たちは説法台の前に座り読経をし、森林だけしかない南と西の景色を、東にはすぐ隣にそびえる少し高い日本山妙法寺のあるラトナギリ（多宝山）を見下ろすと小さな町並みのある北のラジギールの町、短い時間ではあるが、澄んだ空気を吸い込み、三六〇度のパノラマを、この風景を新たに脳裏に焼き付けた。後ろ髪を引かれる思いで下る石段は、不思議にも疲れを感じることなく軽やかに降りられるのは、いったい何なのだろうか。



グリッダクータ（耆闍崛山）の頂上、説法台の前での読経

少年少女参拝団 参加者募集

毎年夏休みに小学校5年生、6年生を対象に行っています。今年は8月22日(月)、23日(火)の2日間となります。定員は60名、定員に達し次第締め切りとさせていただきます。各寺院へ募集要項をお知らせしますので、詳しくはそちらをご覧ください。



総本山誓願寺だより

◆おもな行事予定

- 三月**
 - 十四日(月) 善導忌六阿弥陀功德日
 - 十七(木)～二十三日(水) 春彼岸
- 四月**
 - 二十五日(金)～四月四日(月) 法脈相承
 - 九日(土) 花まつり
 - 十五日(金) 六阿弥陀功德日
 - 二十三日(土)～二十五日(月) 元祖法然上人御忌法要
- 五月**
 - 十八日(水) 六阿弥陀功德日
- 六月**
 - 十八日(土) 和泉式部忌
 - 十九日(日) 六阿弥陀功德日
- 七月**
 - 十四日(木) 六阿弥陀功德日
- 八月**
 - 十五日(月) 六阿弥陀功德日
 - 十六日(火) 精霊送り・益施餓鬼
 - 二十二日(月)～二十三日(火) 少年少女参拝団

クイズコーナー

【問題】

何でもお寺探偵団で、ご住職のお坊さんとして心がけは何でしょうか？漢字四文字でお答え下さい。



官製はがきに、答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いてご応募下さい。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、はがきにてご本人にご連絡申し上げます。名前の掲載が困る方は、その時にご返事下さい。今回は、東林寺さまより腕輪数珠と落慶記念のボールペンをセットで5名さま、本山謹製線香を5名さま、合計10名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】 〒四四四-〇三二四

愛知県西尾市下矢田町郷二
養寿寺内 ちかい編集係

答え ○○○○
郵便番号
住所
氏名
電話番号
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

【締切】五月十日
(消印有効)

ちかい 第146号

発行日 平成二十八年三月五日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話(〇七五) 二二二-〇九五八
FAX(〇七五) 二二二-二〇一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp/

何でも

お寺探偵団



東林寺
とうりんじ

Vol.44



profile

さい どう りゅう みょう
斎藤隆明師 (東林寺 第31世) 昭和30年生まれ、61歳

龍谷大学文学部仏教学科卒、豊川市役所に勤務。平成11年12月先代の遷化に伴い市役所を退職し、翌年住職を拝命する。

今回は愛知県豊川市にある「招賢山 白蓮院 東林寺」を訪ねました。

Q1 お寺の由来を教えてください。

今から遡ること約600年前、室町時代中期の永享年間(1429~1441)に近江の阿闍梨、龍月日蔵和尚によって創建されました。当初は寺号を「洞言庵」といい、真言宗に属するお寺でした。

後の永正年間(1504~1522)に梅空善策和尚によって堂宇を建立し、伽藍を加えて現在の様子となりました。

昔中国に恵遠法師という聖人がいました。この人は廬山東林寺に住み、常に白蓮華を愛し、又聖人賢者を招いて念仏を称えていたと謂われていました。

梅空善策上人は、その事跡を慕って、寺号を招賢山白蓮院東林寺と改名し、浄土宗西山深草派に帰属したといわれています。

寺の記録によれば、徳川家康がまだ三河の領主だった頃、二度当山に立ち寄り休息しました。その儀礼を果たすため、時の奉行「伊奈備前守」に命じ寺領を与えたといわれています。

慶応2年(1866)7月7日星祭の夜、本堂より出火し全て焼失しました。その後、明治16年(1883)に当初より一回り小さな仮本堂として再建しましたが、経年に依る傷みが激しかったため、今回建て替えを行ったものです。

Q2 お寺の宝物は何ですか？

慶応2年に全焼したので、古からの什物は殆ど無くなってしまいました。しかしながら当時の住職が、大事なものだけ数点持ち出し、難を逃れたものがあります。その中にご本尊阿弥陀如来像があります。

鎌倉時代初期の中央仏師の作といわれていますが、残念ながら本堂焼失の際に蓮華台座や光背も焼失し、作者や時代が特定できていません。

今から約860年前の1150年頃、源義経(幼名:牛若丸)が15才の時、金売吉次の侍として京都の鞍馬山から奥州へ下った途中、矢作の里の金丸長者の屋敷に宿泊しました。金丸長者には「浄瑠璃」という絶世の娘がいました。ある夜、素晴らしい琴の音が聞こえ、それに合わせ牛若丸は笛を奏しました。二人は恋に落ちとうとう契りを

交わしてしまいました。以後、浄瑠璃姫は牛若丸が忘れられずに、大望を抱く牛若丸の安否を気遣い、護持佛の阿弥陀如来に、身の安全と大願成就を祈り続けました。

この浄瑠璃姫の護持佛を当山開祖龍月日蔵和尚が、矢作から当所に移し本尊としたものといわれています。

Q3 お坊さんとしての心がけは？

「自然法爾」、あるがままに心を心がけています。

自分の都合の悪いことは、どうしても自分のものとしたくないと考えがちになります。少しでもよくしたいと思う心は皆当たり前のことと思います。

しかし、良いことも悪いことも全て自分のものとして、あるがままにまず受け入れることが大事だと思うように心がけています。

Q4 「ちわい」読者に何か頂けませんか？

旧本堂の来迎柱で作った腕輪数珠と落慶記念のボールペンをセットで5名の方に差し上げます。

【交通】

名鉄本線 御油駅下車 西へ徒歩10分

【主な行事】

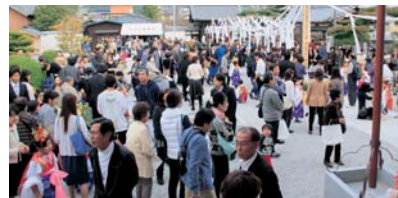
- 初観音大祭会 1月24日
- 涅槃会 2月15日
- 御忌会 2月21日
- 春彼岸会 春分の日
- 釈尊降誕会 4月8日
- 盆施餓鬼会 8月1日
- 地藏盆会 8月24日
- 秋彼岸会 秋分の日

【お問い合わせ】

東林寺
〒441-0211
愛知県豊川市御油町今齊28
電話 0533-87-2824



お稚児さん



稚児行列



新築の本堂



落慶法要